

1. 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応

2. 2023年3月期 決算報告

3. 2024年3月期 通期見通し

売上収益
6,281億円

- **前年比： 885億円増** (前回予想比 19億円減)
 - 精機事業を除く全セグメントで大幅増収
 - 映像事業は、円安効果や中高級機カメラへのシフトが進展したことにより平均販売単価が上昇し増収
 - ヘルスケア事業は、ライフサイエンス（生物顕微鏡）、アイケア（網膜画像診断機器）の売上拡大
 - コンポーネント事業は、EUV関連コンポーネントや光学部品・光学コンポーネントの売上拡大

営業利益
549億円

- **前年比： 50億円増** (前回予想比 1億円減)
 - 精機事業を除く全セグメントで増益、特に映像事業とヘルスケア事業は円安効果もあり大幅増益
 - 全社ベースでは、FPD露光装置事業の大幅減益や全社費用増加によって50億円の増益に留まる

当期利益*
449億円

- **前年比： 23億円増** (前回予想比 29億円増)

株主還元

- **年間配当金45円：中間配当金20円、期末配当金25円**（前回予想から期末5円増配）
- **自己株式の取得：300億円実施済**
- **自己株式の消却：取得した300億円（2,145万株）に加え、保有する500万株を消却**

* 親会社の所有者に帰属する当期利益

2023年3月期 通期：財務ハイライト



単位：億円	22年3月期	前回予想	23年3月期	前年比		前回予想比	
	実績	(2/9)	実績	増減額	増減率	増減額	増減率
売上収益	5,396	6,300	6,281	+885	+16.4%	▲19	▲0.3%
営業利益 営業利益率	499 9.3%	550 8.7%	549 8.7%	+50	+10.0%	▲1	▲0.2%
税引前利益 税引前利益率	570 10.6%	570 9.0%	570 9.1%	±0	▲0.1%	±0	+0.1%
当期利益* 当期利益率	426 7.9%	420 6.7%	449 7.2%	+23	+5.3%	+29	+7.0%
ROE	7.5%	7.0%	7.4%	▲0.1P	-	+0.4P	-
FCF	309	-	▲1,121	▲1,430	-	-	-
年間配当	40円	40円	45円	+5円	-	+5円	-
為替：USD ドル ユーロ	112円	135円	135円	売上収益への影響（億円）			
				+498		+10	
ユーロ	131円	139円	141円	営業利益への影響（億円）			
				+147		▲5	

前年比で売上収益、営業利益、当期利益は増加。FCF大幅マイナスはSLM社買収による

* 親会社の所有者に帰属する当期利益

2023年3月期 通期：セグメント別業績

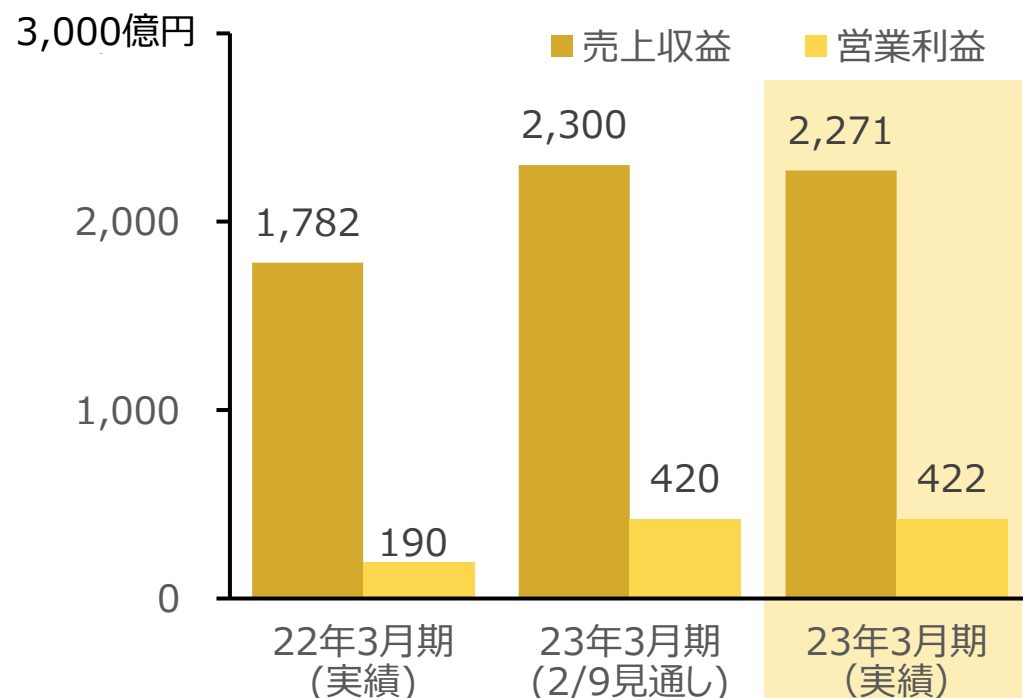


単位：億円		22年3月期 実績	前回予想 (2/9)	23年3月期 実績	前年比		前回予想比	
					増減額	増減率	増減額	増減率
映像事業	売上収益	1,782	2,300	2,271	+489	+27.4%	▲29	▲1.3%
	営業利益	190	420	422	+232	+121.4%	+2	+0.5%
	営業利益率	10.7%	18.3%	18.6%	+7.9P		+0.3P	
精機事業	売上収益	2,112	2,100	2,032	▲80	▲3.8%	▲68	▲3.2%
	営業利益	394	240	243	▲151	▲38.2%	+3	+1.6%
	営業利益率	18.7%	11.4%	12.0%	▲6.7P		+0.6P	
ヘルスケア事業	売上収益	732	930	993	+261	+35.7%	+63	+6.9%
	営業利益	43	80	115	+72	+164.1%	+35	+44.8%
	営業利益率	6.0%	8.6%	11.7%	+5.7P		+3.1P	
コンポーネント事業	売上収益	408	530	539	+131	+32.0%	+9	+1.8%
	営業利益	127	180	146	+19	+15.3%	▲34	▲18.5%
	営業利益率	31.1%	34.0%	27.2%	▲3.9P		▲6.8P	
産業機器・その他	売上収益	360	440	443	+83	+23.1%	+3	+0.9%
	営業利益	29	35	36	+7	+22.4%	+1	+3.6%
	営業利益率	8.2%	8.0%	8.2%	±0.0P		+0.2P	
全社費用等	営業利益	▲286	▲405	▲415	▲129	-	▲10	-
連結	売上収益	5,396	6,300	6,281	+885	+16.4%	▲19	▲0.3%
	営業利益	499	550	549	+50	+10.0%	▲1	▲0.2%
	営業利益率	9.3%	8.7%	8.7%	▲0.6P		±0.0P	

注：「各セグメントに配賦されない全社損益」を「全社費用等」へ名称変更

注：2023年3月期より「次世代プロジェクト本部」は、「精機事業」から「全社費用等」に移管、2022年3月期へ遡及適用

2023年3月期 通期：映像事業



● 売上収益：前年比 489億円増収（前回予想比 29億円減収）

- 部品調達制約が解消し、レンズ交換式デジタルカメラの市場は拡大
- 当社は、ミラーレスカメラおよびミラーレスカメラ用交換レンズへのシフトが進展
- 中でも、プロ・趣味層をターゲットとした中高級機カメラへ注力し、平均販売価格が上昇
- 円安効果も加わり、増収

● 営業利益：前年比 232億円増益（前回予想比 2億円増益）

- 中高級機カメラの販売台数増加、平均販売単価上昇に加え、円安効果により、大幅増益

レンズ交換式デジタルカメラ（万台）

市場規模	512	580	581
ニコン	70	70	70

交換レンズ（万本）

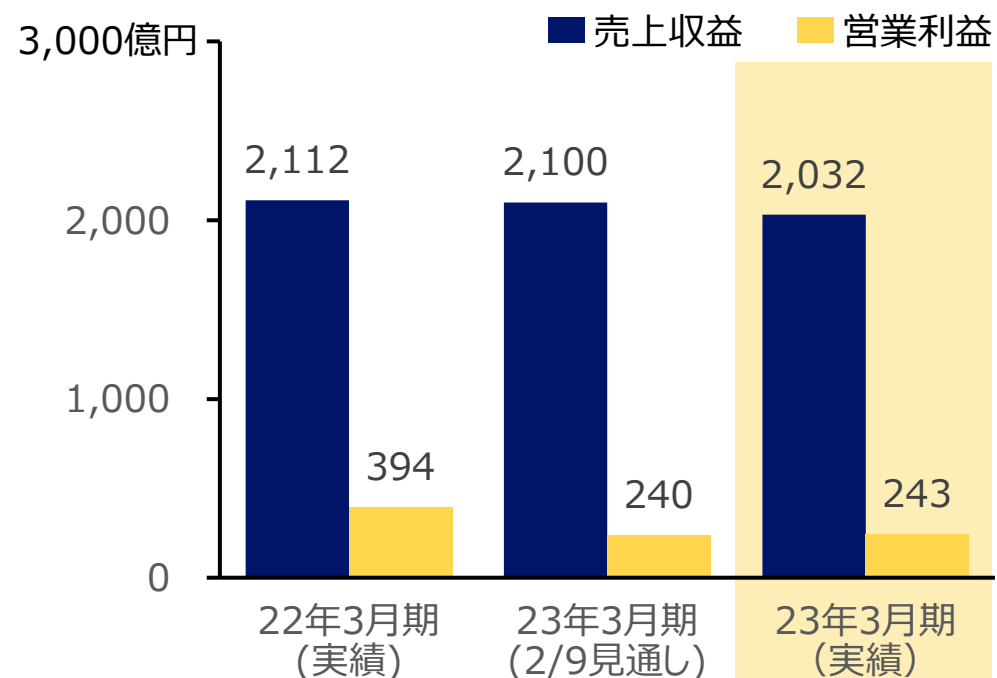
市場規模	939	980	940
ニコン	127	115	116

レンズ一体型デジタルカメラ（万台）

市場規模	272	200	199
ニコン	19	10	11

注：レンズ一体型デジタルカメラは、ボディとレンズが一体となり、レンズ交換不可のカメラを指す（ニコンの該当機種：COOLPIX P1000, P950等）

2023年3月期 通期：精機事業



FPD露光装置販売台数 (台)

市場規模 (CY21/22)	116	79	79
ニコン	46	29	29

半導体露光装置販売台数 (新品／中古、台)

市場規模 (CY21/22)	390	480	480
ニコン	17/18	28/18	27/18

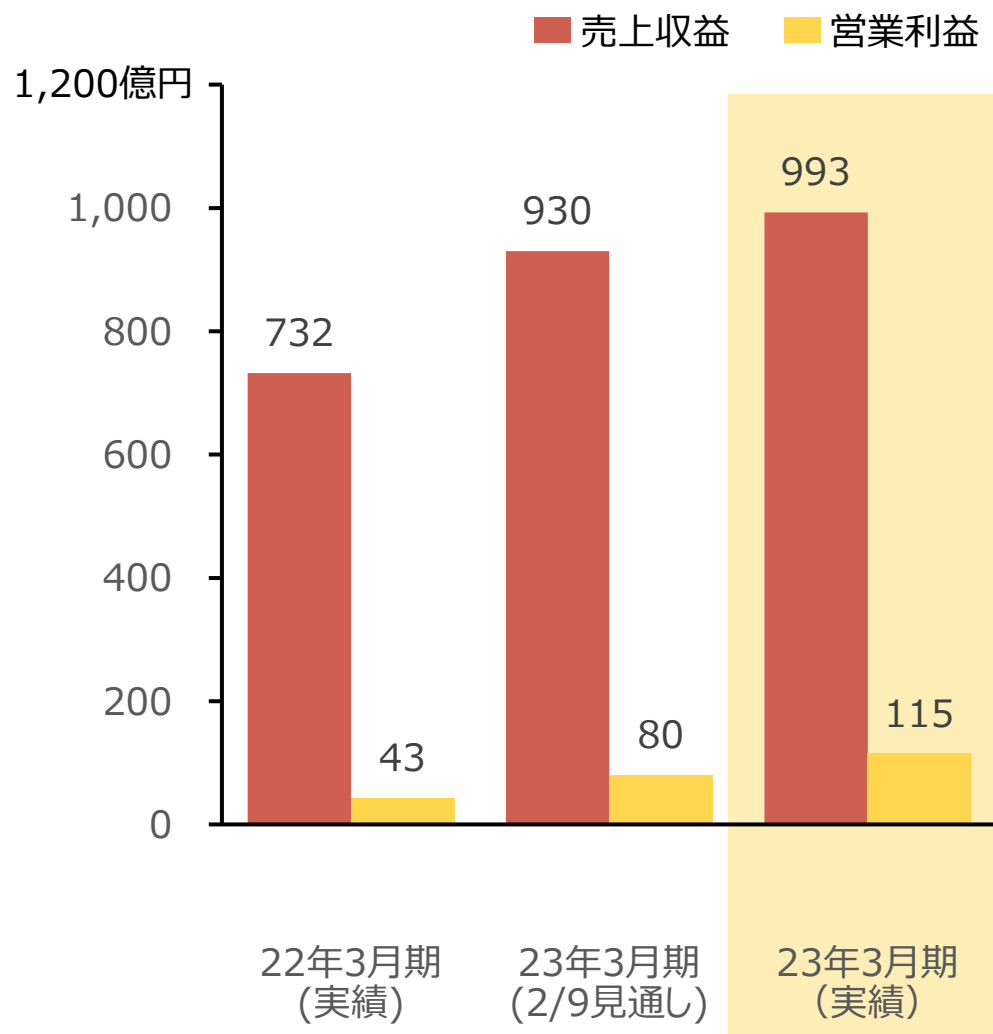
● 売上収益：前年比 80億円減収 (前回予想比 68億円減収)

- FPD露光装置はパネル価格下落に伴い顧客の設備投資が縮小したことにより、販売台数は前年比減少し減収
- 半導体露光装置はArF露光装置を中心に新品装置の販売台数が増加したことにより、前年比増収
- 前回予想比では、ArF液浸露光装置の1台翌期繰延を主因に下振れ

● 営業利益：前年比 151億円減益 (前回予想比 3億円増益)

- 前年比では、半導体露光装置は販売台数増となるも、FPD露光装置の販売台数減により、精機事業全体では減益

注：2023年3月期より「次世代プロジェクト本部」は、「精機事業」から「全社費用等」に移管、2022年3月期へ遡及適用



● **売上収益：前年比 261億円増収 (前回予想比 63億円増収)**

- ライフサイエンス（生物顕微鏡）は、北米を中心に、中国、その他地域において新製品の拡販および民間市場の拡販が進展
- アイケア（網膜画像診断機器）は、北米での大口受注に加え、アジアでの売上増加
- 円安効果もあり、大幅増収
- 前回予想比では、部品・物流逼迫の影響の最小化により大幅上振れ

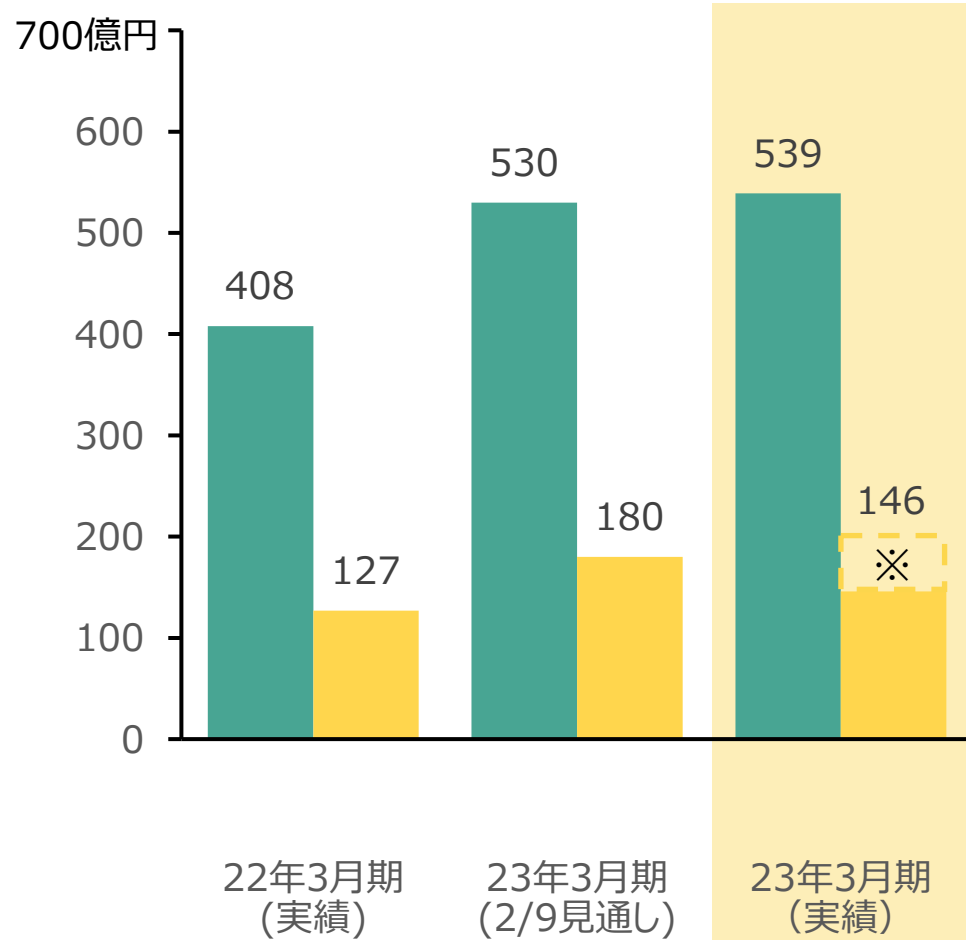
● **営業利益：前年比 72億円増益 (前回予想比 35億円増益)**

- ライフサイエンス、アイケアの増収効果および円安効果により大幅増益

2023年3月期 通期：コンポーネント事業



■ 売上収益 ■ 営業利益



● 売上収益：前年比 131億円増収 (前回予想比 9億円増収)

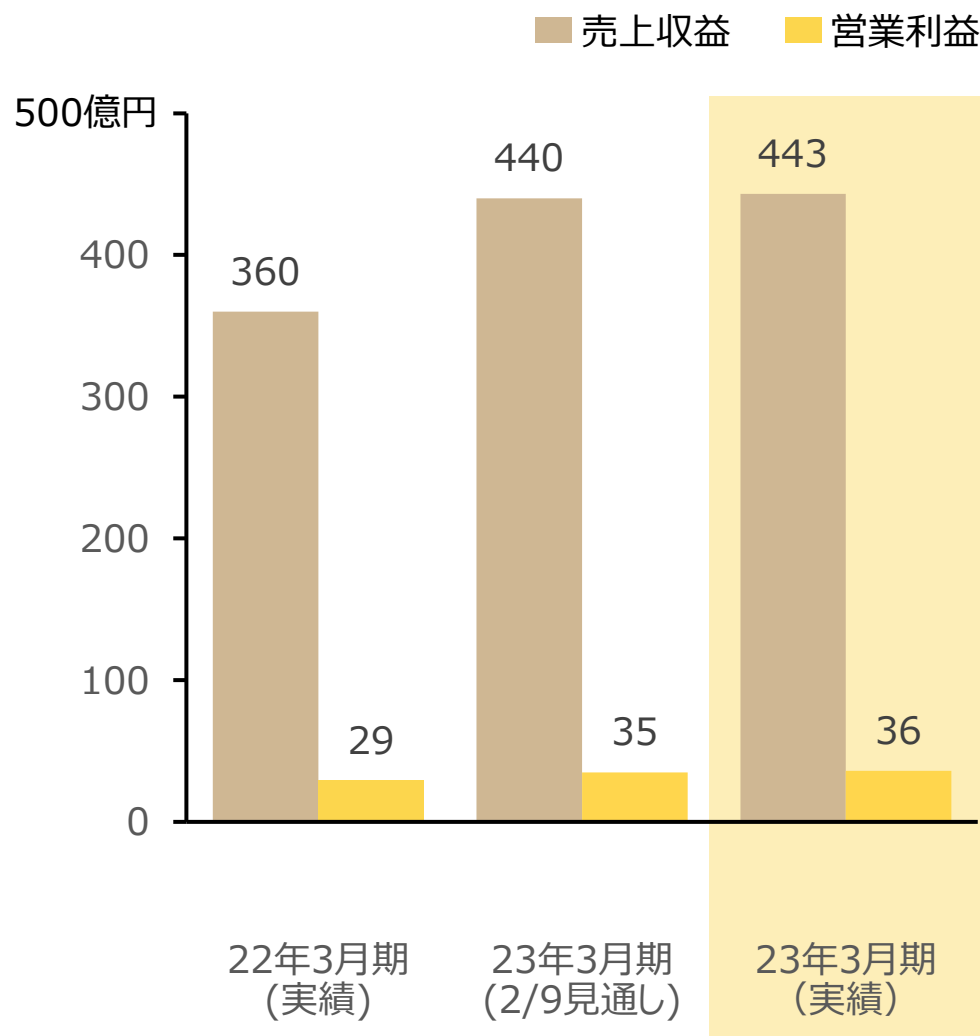
- EUV関連コンポーネント、半導体関連製品向けの光学部品・光学コンポーネントやFPDフォトマスク基板等が売上拡大に寄与

● 営業利益：前年比 19億円増益 (前回予想比 34億円減益)

- 前年比では、売上拡大に伴う増収効果により増益
- 前回予想比では、Morf3D社減損損失39億円を除き、ほぼ想定どおり
- Morf3D社は付加加工の受託ビジネスを行う米国子会社。2023年4月より、デジタルマニュファクチャリング事業に移管 (減損の背景等はスライド29ご参照)

※ Morf3D社に関する減損損失

2023年3月期 通期：産業機器・その他



● 売上収益：前年比 83億円増収 (前回予想比 3億円増収)

- 産業機器事業では、画像測定システムやX線/CT検査装置等の販売が堅調で前年比増収
- 「その他」に含まれるSLM社の新規連結により、前年比増収

※ SLM社は23年度より、デジタルマニュファクチャリング事業に移管

● 営業利益：前年比 7億円増益 (前回予想比 1億円増益)

- 産業機器事業は、増収効果により増益
- 「その他」に含まれる国内生産子会社は増益
- SLM社買収により取得した無形資産の償却費負担を第4四半期分のみ計上 (SLM社買収に伴う償却費負担等はスライド29ご参照)

1. 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応
2. 2023年3月期 決算報告
3. 2024年3月期 通期見通し

売上収益
6,650億円

● **全社見通し：前年比369億円増収**

- 映像事業は、ミラーレスカメラの販売台数増加により増収
- 精機事業は、FPD露光装置事業の減収を半導体装置事業の増収が上回り、増収
- デジタルマニュファクチャリング事業は、前期に連結子会社化したSLM社が年間を通じて寄与し、増収

営業利益
430億円

● **全社見通し：前年比119億円減益**

- 映像事業は、市場の正常化や円安効果の剥落に伴い減益となるも、高い収益性を維持
- 精機事業は、FPD露光装置事業の減益を半導体装置事業の増益で打ち返せず、減益
- ヘルスケア事業・コンポーネント事業は、ビジネス拡大基調が続き堅調
- 新設のデジタルマニュファクチャリング事業は、SLM社買収に伴う償却費負担や研究開発費負担で営業赤字からのスタート

当期利益*
350億円

● **全社見通し：前年比99億円減益**

株主還元

● **前年比5円増配の年間配当金50円（中間配当金25円、期末配当金25円） 予定**

為替前提

● **USドル：130円、ユーロ：140円**

* 親会社の所有者に帰属する当期利益

2024年3月期 通期見通し：財務ハイライト



単位：億円	23年3月期 実績	24年3月期 見通し	前年比	
			増減額	増減率
売上収益	6,281	6,650	+369	+5.9%
営業利益	549	430	▲119	▲21.7%
営業利益率	8.7%	6.5%		
税引前利益	570	460	▲110	▲19.4%
税引前利益率	9.1%	6.9%		
当期利益*	449	350	▲99	▲22.1%
当期利益率	7.2%	5.3%		
ROE	7.4%	5.6%	▲1.8P	-
EPS	125.46円	101.11円	▲24.35円	-
年間配当	45円	50円	+5円	-
為替：USDollar ユーロ	135円	130円	売上収益への予想影響（億円）	
			▲101	
	141円	140円	営業利益への予想影響（億円）	
			▲24	

注：EPS（基本的 1 株当たり当期利益）＝当期利益÷期中平均株式数（2023年3月期実績は約3.58億株で計算、2024年3月期見通しは約3.46億株で計算）

* 親会社の所有者に帰属する当期利益

開示セグメント変更



旧セグメント		事業部		事業部		新セグメント	
映像事業	映像事業部			映像事業部		映像事業	
精機事業	FPD装置事業部			精機事業本部	FPD装置事業部		精機事業
	半導体装置事業部		半導体装置事業部				
ヘルスケア事業	ヘルスケア事業部			ヘルスケア事業部		ヘルスケア事業	
コンポーネント事業	カスタムプロダクツ事業部			カスタムプロダクツ事業部		コンポーネント事業	
	ガラス事業室			ガラス事業室			
	デジタルソリューションズ事業部	光学コンポーネント他		デジタルソリューションズ事業部			
		材料加工（含むMorf3D社）					
産業機器・その他	産業機器事業部			産業機器事業部		デジタルマニュファクチャリング事業	
	その他			アドバンストマニュファクチャリング事業部		その他	
		SLM社		その他 ※			
全社費用等	親会社の本部部門			親会社の本部部門		全社費用等	
		次世代プロジェクト本部		次世代プロジェクト本部			

材料加工ビジネスを行う部署・子会社等を「アドバンストマニュファクチャリング事業部」に集約、
「産業機器事業部」と合算して、「デジタルマニュファクチャリング事業」として開示（中期経営計画セグメントと同一）

※ 2024年3月期から、精機事業の国内生産会社を「その他」に含まれる生産本部へ移管

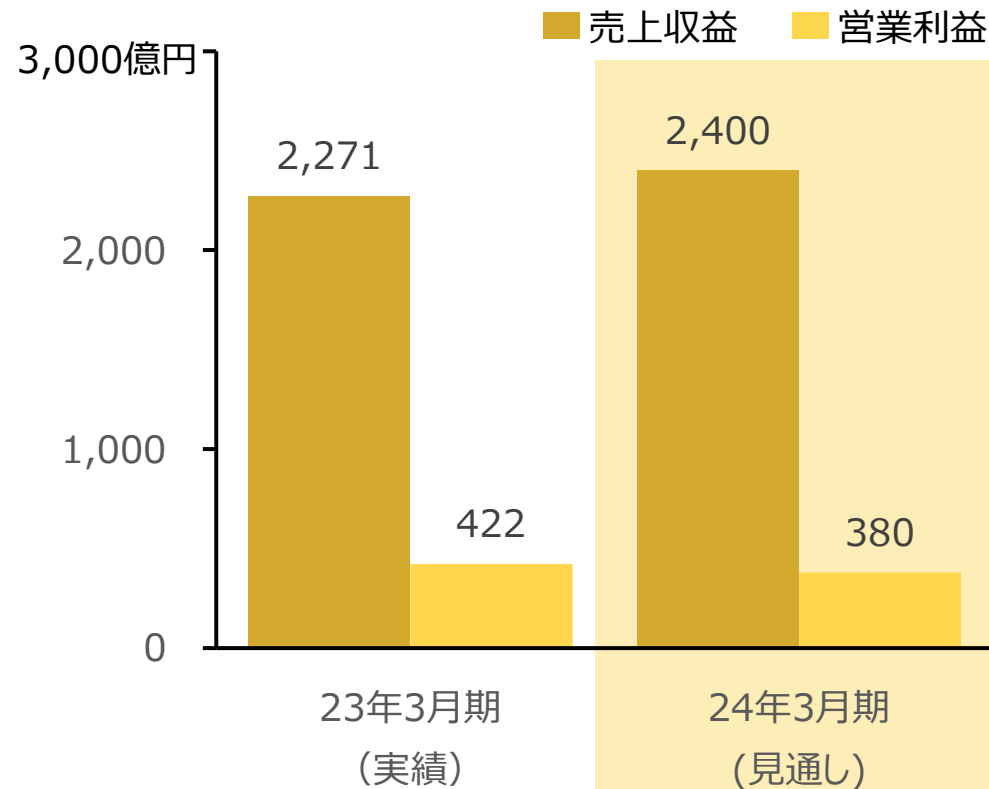
2024年3月期 通期見通し：セグメント別業績（新セグメント別）



単位：億円		23年3月期実績	24年3月期見通し	前年比	
				増減額	増減率
映像事業	売上収益	2,271	2,400	+129	+5.7%
	営業利益	422	380	▲42	▲10.0%
	営業利益率	18.6%	15.8%	▲2.8P	
精機事業	売上収益	2,032	2,100	+68	+3.3%
	営業利益	245	150	▲95	▲38.9%
	営業利益率	12.1%	7.1%	▲5.0P	
ヘルスケア事業	売上収益	993	950	▲43	▲4.4%
	営業利益	115	110	▲5	▲5.0%
	営業利益率	11.7%	11.6%	▲0.1P	
コンポーネント事業	売上収益	530	530	±0	▲0.1%
	営業利益	220	200	▲20	▲9.4%
	営業利益率	41.6%	37.7%	▲3.9P	
デジタル マニファクチャリング事業	売上収益	420	640	+220	+52.1%
	営業利益	▲101	▲90	+11	-
	営業利益率	▲24.1%	▲14.1%	+10.0P	
その他 (含、全社費用等)	売上収益	32	30	▲2	▲7.1%
	営業利益	▲353	▲320	+33	-
連結	売上収益	6,281	6,650	+369	+5.9%
	営業利益	549	430	▲119	▲21.7%
	営業利益率	8.7%	6.5%	▲2.2P	

注：23年3月期実績はセグメント変更による組み替え後の数値

2024年3月期 通期見通し：映像事業



● 売上収益：前年比 129億円増収

- レンズ交換式デジタルカメラの市場は、初級機の縮小継続を予想
- 当社は、中高級機カメラへの注力を継続
- 新製品（Z 8等）上市によるミラーレスカメラやミラーレスカメラ用交換レンズの販売数量増加を見込む
- 商品ミックスの改善、平均販売単価上昇により増収

● 営業利益：前年比 42億円減益

- 部品調達制約解消、市場正常化に伴う販売促進費などの費用増加により減益
- 円安効果は減少の見通し
- 営業利益率は中期経営計画想定を上回る15%台の見込み

レンズ交換式デジタルカメラ（万台）

市場規模	581	550
ニコン	70	70
交換レンズ（万本）		
市場規模	940	920
ニコン	116	115

半導体デバイスの製造工程とニコン製品

装置

精機事業



ArF液浸スキャナー
「NSR-S635E」



アライメントステーション
「Litho Booster」



自動マクロ検査装置
「AMI-5700」



ウエハ外観検査装置
「OST-3200」

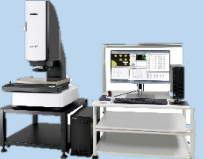


CIS検査用照明装置
「N-SIS9」

デジタルマニュファクチャリング事業

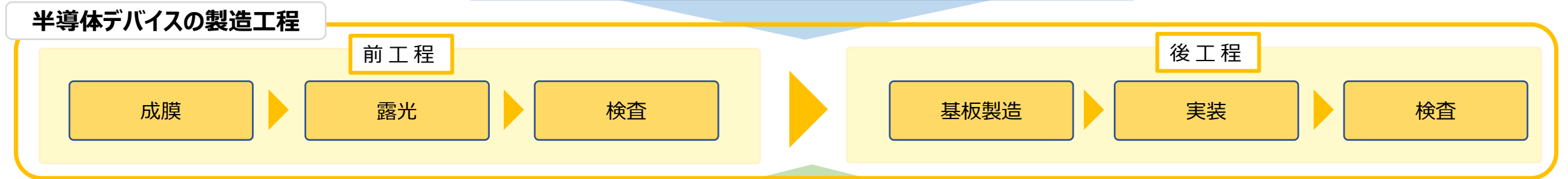


工業顕微鏡
ECLIPSEシリーズ+ウエハローダー



画像測定システム
「NEXIV VMZ」シリーズ

半導体メーカーに納入



部品・コンポーネント



製造装置・検査計測装置メーカー（インテグレータ）へ提供

コンポーネント事業

搬送ロボット向け
エンコーダ

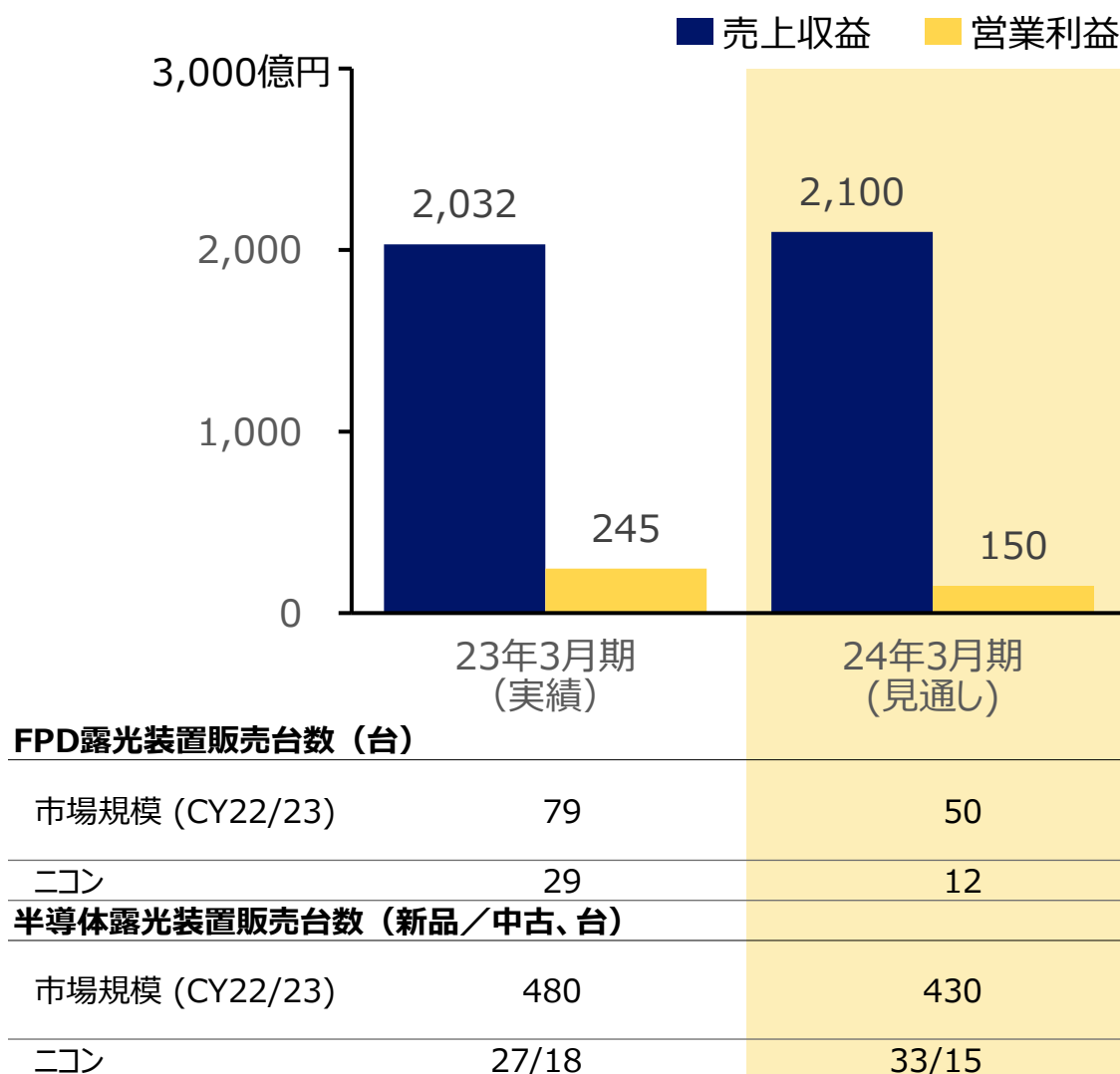
製造ライン・設備のモニタリング用途
FAカメラ「LuFact」

光学素材

光学コンポーネント

高性能産業用カメラレンズ
「Rayfact」

2024年3月期 通期見通し：精機事業



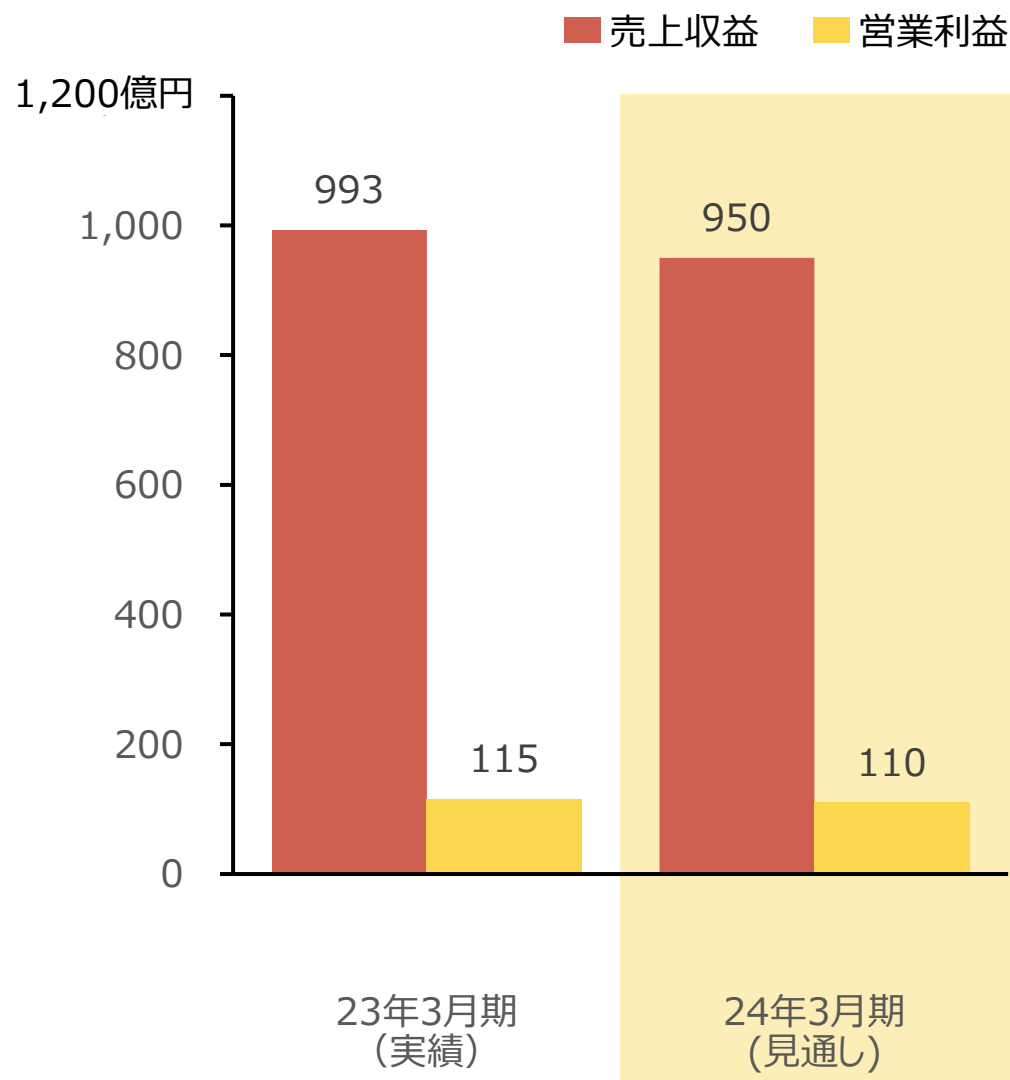
● 売上収益：前年比 68億円増収

- FPD露光装置は、顧客の設備投資の繰り延べにより、販売台数が大幅に減少し減収
- 半導体露光装置は、設備投資需要一服の影響はあるものの、主要顧客以外への拡販により増収
- サービスビジネスは市況の停滞により減収も、精機事業全体としては増収

● 営業利益：前年比 95億円減益

- FPD露光装置は、販売台数減少の影響から大幅減益
- 半導体露光装置は、ArF露光装置の販売台数増加により増益
- 精機事業全体では、FPD露光装置事業の減益を半導体露光装置事業の増益で打ち返せず減益

注：23年3月期実績はセグメント変更による組み替え後の数値



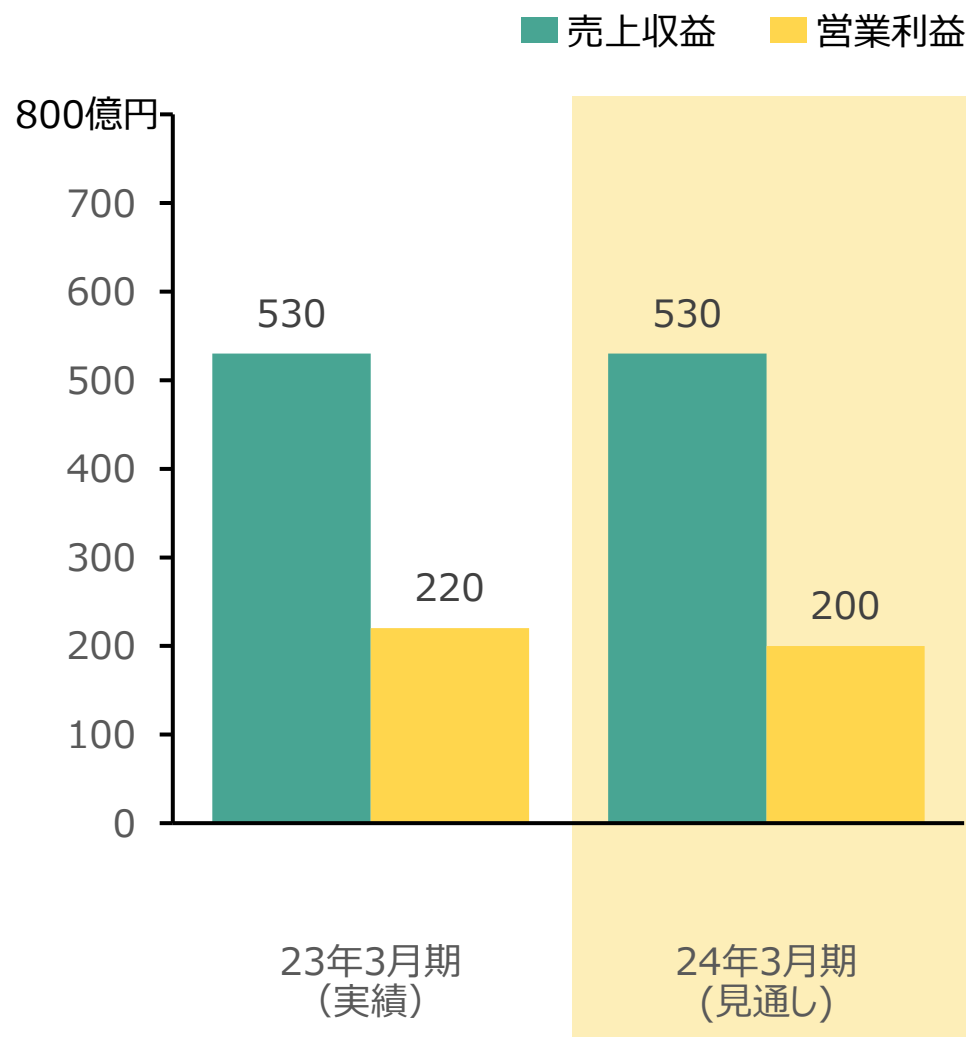
● 売上収益：前年比 43億円減収

- ライフサイエンス（生物顕微鏡）は、民間市場の開拓や創薬支援・ソリューションの強化により、北米、中国を中心とした拡販を見込む
- アイケア（網膜画像診断機器）は、眼科診断機器市場は安定的成長も、前年の大口商談影響剥落により、減収を見込む
- 全体として堅調だが、円安効果の剥落により微減収

● 営業利益：前年比 5億円減益

- 円安効果の剥落を除くと前年並み

2024年3月期 通期見通し：コンポーネント事業



● 売上収益：前年並み

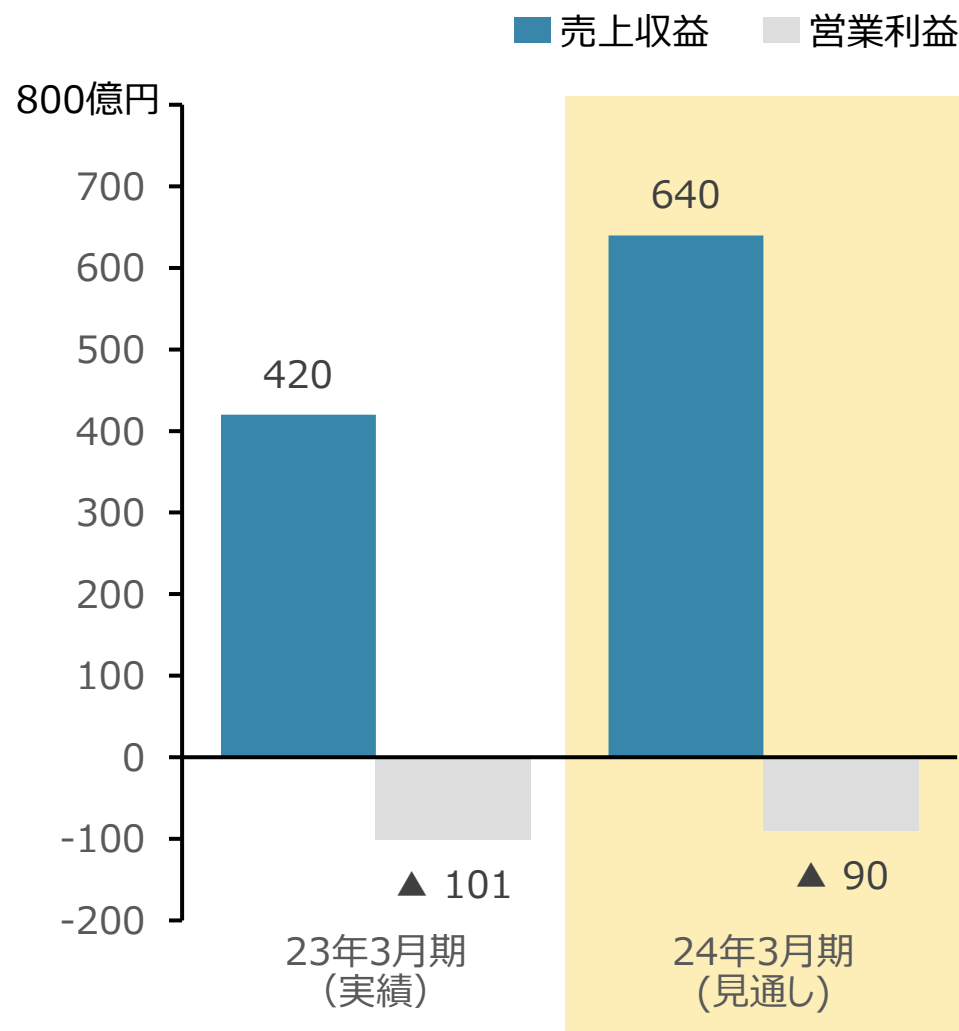
- EUV関連コンポーネントは堅調
- 光学部品・光学コンポーネントは、半導体市場が調整局面にあるものの、引き続き需要は強く、売上堅調
- 半導体関連以外の特注品の減収等により事業全体では前年並み

● 営業利益：前年比 20億円減益

- 半導体関連では、量産化フェーズに入った一部コンポーネント製品の先行投資回収の一服により減益
- 事業全体で、35%を超える高い営業利益率を維持

注：23年3月期実績はセグメント変更による組み替え後の数値

2024年3月期 通期見通し：デジタルマニュファクチャリング事業



● 売上収益：

- 産業機器事業部と新設のアドバンストマニュファクチャリング（ADM）事業部からなる新セグメント
- 産業機器事業では画像測定システムやX線/CT検査装置等の拡販により増収を見込む
- X線事業の開発・製造・販売を強化のため、米国のAvonix Imaging LLCの子会社化手続きを開始(*)
- 前年度に買収したSLM社が年間を通してADM事業の業績に寄与し、売上収益はセグメント全体で640億円を見込む

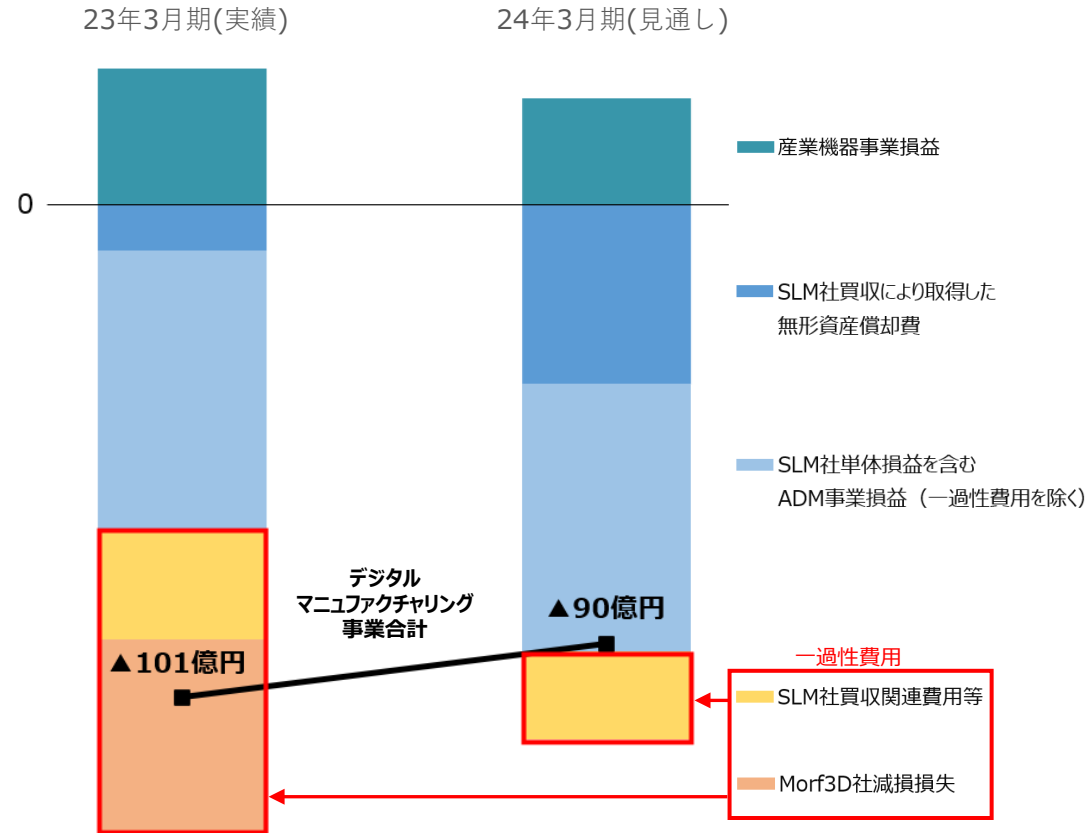
● 営業利益：

- 産業機器事業は販売増による増益を見込むものの、先行投資や一時的な部材高騰の影響のため前年比微減
- ADM事業は、研究開発などの先行投資に加え、事業立ち上げに伴う一過性費用や、SLM社買収による無形資産の償却費（36億円）により営業赤字となる見込み
- デジタルマニュファクチャリング事業全体でも営業赤字の見込み

注：23年3月期実績はセグメント変更による組み替え後の数値

(*)必要な許認可等の取得及び本件のクローリング条件の充足を条件とする

デジタルマニュファクチャリング事業 営業利益内訳



注：23年3月期のSLM社買収により取得した無形資産の償却費は、23年1-3月の3か月分のみ計上

Morf3D社減損損失（39億円）

- ADM事業部発足に伴い、同社の位置付けを見直し
- 受託生産ビジネスに加え、宇宙・航空・防衛等における知見や各種認証を活かした**付加加工アプリケーションの開発に注力**
- 資産価値の再評価を行い、**固定資産・のれん等の減損損失計上**

SLM社買収 PPA

- 買収対価812億円（持分比率92.38%）
- 2023年1月に無形資産336億円、のれん477億円を計上

勘定科目	資産内容	金額	償却年数
無形資産	技術関連資産	331億円	10年
	顧客関連資産	4億円	1年
のれん		477億円	-

注：為替レートは 1ユーロ=141.47円

SLM社単体の業績（フランクフルト上場企業としての3月23日付け開示内容）

- 22年通期（1-12月）のEBITDAは7.8百万ユーロの赤字。四半期ベースではニコンとの統合費用を除くと22年1-3月期を除き、3四半期連続で黒字
- 23年の予想：マネジメント・ボードはEBITDAの大幅な改善を期待している。Dirk Ackermann CFO「四半期ベースでは損益分岐点に達しており、23年度は営業利益率のさらなる向上を目指す」

SLM社のPMIは順調に進捗。デジタルマニュファクチャリング事業の早期黒字化を目指す